

報道機関各位



学生バードソン 2009 実行委員会
委員長 阿部辰己

プレスリリース

生物多様性を守れ！自然保護イベント:NEC 学生バードソン 2009 開催！競技結果発表！！

全国の学生がバードウォッチングと募金活動を競う！ついにその順位が決定！

全国の学生がバードウォッチングをし、その野鳥確認種数を競い、同時に募金活動も行うという競技形式の自然保護チャリティーイベント、「NEC 学生バードソン 2009」が6月7日(日)開催されました。気軽に参加できるこの競技に全国から43チームが参加し、ついに競技結果が発表されました！！

【NEC 学生バードソン 2009 開催！(財)日本野鳥の会柳生博会長も応援！！】

学生バードソン 2009 実行委員会は、6月7日(日)全国の学生が参加する自然保護チャリティーイベント「NEC 学生バードソン 2009 (協賛: NEC (日本電気株式会社)・後援: 財団法人日本野鳥の会)」を開催しました。

学生が主体であるこのイベントは、東京農業大学、明治大学、日本大学、法政大学、東邦大学、武蔵野大学など首都圏の学生が中心となって運営され、北は北海道、南は鹿児島からと、全国から学生30チーム、社会人13チームの合計43チームが参加しました。



競技当日は、早朝3時に学生バードソン 2009 実行委員会本部が競技開始を宣言した後、“東京農業大学 野鳥研究会”が一番乗りで、まだ暗い早朝3:20からスタートしました。その後次々と多くのチームがスタートの宣言をし、参加者達の鳥を見ることにかけては誰にも負けるものか、という熱い意気込みが伝わってきました。また、競技当日は、日本野鳥の会事務局のチーム“カンムリウミスズメ助け隊！”も参加し、日本野鳥の会会長である柳生博と競技中に合流する場面もありました。

(左写真: 中央...柳生会長、他メンバー...チーム“カンムリウミスズメ助け隊！”)

【競技結果発表！！気になる総合第1位は...！？】

丸1日かけたこの競技、ついに順位が発表されました！！

< 学生部門総合 >

1位 “あふるといっしょ” 麻布大学 82種 募金額 51,114円 募金者数 551人

2位 “カラのネクタイ” 北里大学 93種 募金額 30,140円 募金者数 287人

3位 “鳥 View 徒” 岐阜大学 63種 募金額 20,961円 募金者数 43人

激戦を勝ち抜いた学生第1位のチームは麻布大学の“あふるといっしょ”でした！朝5時に富士山の麓を出発し、丹沢を経て夕方17時、葛西臨海公園にて競技を終了しました。山から海まで網羅したこのチームは、日本では希少なアカガシラサギを見たとのことで、大満足の様子でした。野鳥確認種数はもちろんのこと、極めつけは募金額、募金者数における圧倒的大差により、見事第1位を勝ち取りました。本当にすばらしい！の一言です！また、競技当日は北海道・東北の天候が悪く雨が続き、毎年有力な北海道・東北のチームは苦戦を強いられました。しかしそんな中、北里大学チーム“カラのネクタイ”は堂々の野鳥数No.1をマークし、総合第2位となりました。天候に負けずに見事走り抜けた彼らに感服です！そして第3位は初出場岐阜大学の“鳥 View 徒”でした！競技ではアカショウビンやサンコウチョウが見られたそうです。初出場ながら天晴れな完走ぶりに“鳥 View 徒”ならぬ“tribute”(感謝の言葉)を送りたいと思います。みなさまご参加ありがとうございました！

続いて社会人部門の結果発表です。

< 社会人部門総合 >

1位 “ 翻訳ボランティア・アジアクラブ ”(財) 日本野鳥の会	68種	募金額 349,300円	募金者数 308人
2位 “ 始祖鳥を探せ! ”(株) シャープ	54種	募金額 75,000円	募金者数 113人
3位 “ タンチョウコミュニティ ”	57種	募金額 44,880円	募金者数 27人
3位 “ カンムリウミスズメ助け隊 ”(財) 日本野鳥の会	50種	募金額 61,852円	募金者数 59人

社会人1位は圧倒的、日本野鳥の会アジアクラブのチームです。開始は早朝4時で長野県白馬村を出発、同県の八方尾根にて16時に終了しました。毎年他と群を抜いて差をつけるこのチームはもう最強としか言いようがありません! はたしてこれからも地位を守り続けるのか、ライバル出現となるのか!

他にも報告大賞、カンムリ賞、バードソン川柳賞、フォト賞などがあります。これらの結果は下記URLにて!

NEC 学生バードソン HP : <http://www.fa-net.org/birdathon/2009>

【学生バードソンとは、気軽に参加できる競技形式の楽しい自然保護活動!!】

「バードウォッチング」と「マラソン」を掛け合わせた造語です。一定時間内に何種類の野鳥を発見することができるかを競うチーム(3人1組)参加のイベントです。また、参加者は一定期間募金活動もして募金者数、募金額も競います。バードウォッチングや自然散策を楽しみながら自然保護ができるという、素晴らしい競技です。学生バードソンは、1988年から行なわれており、今年で21回目の開催となります。今まで、絶滅の危機に瀕しているタンチョウ繁殖地の土地を買い取るための資金や、コアジサシの保護を行うNPOへの活動資金援助等、様々な団体に、総額約1700万円を寄付してきました。

【今年度募金先】

今年、(財)日本野鳥の会は75周年を迎え、新たにカンムリウミスズメを保護する取り組みに着手します。生態に不明の多いカンムリウミスズメの保護活動をするにはまず、地道な調査活動による十分な調査データが必要不可欠です。しかし、カンムリウミスズメの豊富な調査データを得るにはより多くの費用が必要です。中でも船のチャーター代は高額で、調査費用の中でも大半を占め、このお金が集まらないと十分な調査を行うことができません。そこでNEC学生バードソン2009は(財)日本野鳥の会のカンムリウミスズメ保護プロジェクトに全額寄付をします。

【カンムリウミスズメとは】

日本近海のみで繁殖する海鳥です。絶滅の恐れが高く、環境省レッドデータブックでは、トキやコウノトリに次ぐ絶滅危惧類に指定されています。しかし、認知度も低く国や地方自治体等では、カンムリウミスズメを保護するための具体的な取り組みは殆ど行われていません。また、繁殖地が無人島で、繁殖以外は、海洋で生活するため、詳しい生態等は分かっていません。



撮影：中村豊氏



撮影：中村豊氏

【募金のお願い】

NEC学生バードソン2009では、競技参加者とは別に一般の方の募金も募集しております。

募金をして下さるという方は、下記郵便口座へお振り込みください。

口座名：学生バードソン実行委員会

口座番号：00130-1-391954

【本件に関するお問い合わせ先】

学生バードソン 2009 実行委員会

Mail:necbirdathon2009@yahoo.co.jp

TEL:090-3533-2969 (広報担当：深澤真梨奈)

FAX:047-452-2407

URL:<http://www.fa-net.org/birdathon/2009>

【参考資料について】

写真の提供もできます。但し、カムリウミスズメの写真については撮影者のお名前を掲載していただくことが掲載の条件になりますので、予めご了承ください。